

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無会派)

学校給食費無償化に向けて市独自の取組と出産祝い金・入学祝い金の提案について

問 学校給食費の第2子目半額、第3子目以降全額無償化、及び出産祝い金(第1子目30万円、第2子目40万円、第3子目以降50万円)と入学祝い金(小中高それぞれ10万円)を宮クーポン券で発行することについて、市の考えを伺う。また、出産から小学校入学前までの平均的な育児費用はどれだけか。

部長 学校給食費無償化(上記提案)には約1.5億円、出産祝い・入学祝い金の提案には約6億円とその他経費の財源が必要で、市独自に実施することは難しい。また、小学校入学前までの平均的な育児費用は、国が平成21年に実施した調査で約736万円。現在はもっと大きな金額になると推測される。

問 給食費の無償化を国の制度として始めるために、期間限定であっても市が一步を踏み出すことが必要ではないか。

市長 国が進める異次元の子ども政策に期待し、他の自治体と歩調を合わせてやっていきたい。

社会福祉協議会が実施するフードサポート事業に対する市の連携・協力体制の強化について

問 食品や生活用品を収集する場所を増やすことや、必要な人に必要な物資を届ける体制の充実及びフードサポート事業の市民への周知についてどう考えるか。

部長 食品管理の面から収集場所については、現行の方法が望ましい。物資の配布体制充実や市民への周知については、社会福祉協議会からの提案があれば、積極的に協力していく。



▲食品の提供を呼びかける旗と回収ボックス(市役所1階)



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(無会派)

介護の準備で知っておきたい知識について。 突然の介護問題にほとんどの人は何から手をつけていいのかわからず「事前に備えておけばよかった…」と、今から準備しておくことが介護の負担を減らす上で重要だと考え伺う。

問 介護に関する費用について。

部長 介護保険サービスにかかった費用の1割が自己負担額(※所得に応じて2割又は3割)のほか、日常生活費(居住費、食費、おむつ代、洗濯代など)の金銭的負担がある。

- ・平均74万円(住宅改修などの一時的な費用)
- ・平均8万3,000円(介護保険の月額費用)
- ・平均4万8,000円(在宅介護の月額費用)
- ・平均12万2,000円(施設介護の月額費用)

問 介護の準備で知っておきたい知識とは。

部長 日頃から相談できる、かかりつけ医を見

つけておくことが重要な準備だと考える。市内に6か所ある地域包括支援センターへ事前に相談しておくことも重要な準備だと考える。

富士宮市地域包括支援センター

問 介護者の生活に影響を与えることとは。

部長 74.9%の方が不安を感じている。不安の第1位は

【自分の肉体的、精神的な負担】続いて、

【自分の時間が拘束される】、

【自分の経済的負担】、

【介護サービスの費用が不安】、

急に身近な家族に介護が必要となった場合には、地域包括支援センターなどの身近な相談窓口を知っておくことが大切だと考える。

問 介護する人のための支援制度について。

部長 【介護休暇】【勤務時間の短縮措置】【法定時間外労働の制限】【深夜業の制限】など。市では【紙おむつ購入費助成】【寝たきり老人等介護手当】【訪問理美容サービス】などを実施。

